

魚得水



題字 魚得水 逝 揮毫 附属小学校非常勤講師 竹田 敏行 解説は3面



発行所
(財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
URL <http://www.ehime-kyouikukai.jp>

- (2) 学校紹介 下灘小学校
- (3) 地区教育会だより(八幡浜)
- (4)(5) 特集 本とわたし
- (6) 九十九歳・八十歳慶祝者
- (7) 愛媛県教育会の歩み
- (8) ふるさとスケッチ

学んだこと、つなげたいこと



元 愛媛県教育委員会指導部長

横手道明

私も、父が亡くなった年齢になった。

昭和五十六年十月、私が四十歳の時、父は死亡した。勤務校、宇和中学校の河野素校長が七月に逝去された年でもあった。

私が、教師としての生き方を学んだ大切な二人の師との別れの年であった。来年は三十三回忌である。ずいぶんと時がたったけれど、二人の教えは私の心に深く刻まれている。

○父のことば

(「一粒不捨」道元禪師)

新採として山の学校に赴任する前日、父は私に二つのこ

とを言った。

一つは、登下校時、牛を見たら「おはようございます」「お疲れさまです」とあいさつをしない。牛の向こうには必ず人がいる。

二つ目は、授業中は勉強の好きな子にしっかりと目を向けること、休み時間は勉強の嫌いな子に、目配り心配りをしない。

学校で子どもたちと接している間、念頭から離れなかった。

○素校長のことば(教師像)

昭和五十二年四月、宇和中学校に転任した。年度初めの職員会で、校長は学校経営要

項をもとに、基本姿勢を話された。要項には「この道」という欄があり、そこに『あかあかと一本の道とほりたりたまきはるわが命なりけり』一茂吉の歌があった。

毎年、校長は、実践したことをもとに教師像を熱く語られた。「自分は教師の道を選んだ。この道しかない。この道を進むだけです。教師なら、校長に信頼され、同僚に敬愛され、保護者に尊敬され、生徒に親しまれる教師になるよう日々努力したいものだ。」と諭される。

校長のことばは、聞く私どもに意欲を湧き立たせるものであった。

二人の顔は、折にふれ浮かび、今に、私を導いてくれている。

一略 歴

(よこて・みちあき)

昭和38年 愛媛大学教育学部中等科卒業

昭和63年 義務教育課指導主事

平成4年 宇和町立明間小学校長

平成6年 義務教育課長補佐

平成9年 義務教育課長

平成12年 愛媛県教育委員会指導部長

平成13年 定年退職

響

今や青少年の情報の手の方法は、携帯電話やメールが中心となり、その日常化は、「活字離れ」

の兆しとも見られ懸念される。▼若者たちは言う。「インターネットがあれば万全、新聞や本など無用」と。ワープロに始まる文書の機械化は、一面では家庭内に「活字」を進出させた。今では、日々の連絡もメール、日記もインターネット上の「ブログ」。確かに手早く便利である。しかしながら、これらネットからは、「情報」は伝わっても、「心情」が伝わりにくい。さらに、家庭に帰るや個室に閉じこもってゲームに心うばわれ、読人物などに見向きもしない子どもたち▼こういった「活字離れ」の環境は、次世代の思考力、創造力、ひいては人間力の衰退につながりかねない▼十月二十七日は「文字・活字文化の日」。豊かで住みよい社会を願ひ、読む・書く習慣を身につける日常生活づくりを心がけたい。「活字」は人づくりに欠かせない文化である。

ひとこと

つながって
広がって



愛媛県教育会
理事 慶子
清水

縁あって、若い頃七年間もお世話になった現任教へ再度勤務させていただいています。当時は、エネルギーあふれる時代だったと自負しています。ですが、思い返すと、今ならあの子にもお母さんにももつとちがった関わりができただろうにと、そつと「ごめんね」と思うこともたくさんあります。何とか乗り越えてこられたのは、同僚はもちろん保護者や地域の皆さんとのつながりが大きな支えであったのだと二十年を経た今、感謝の思いで一杯です。そして、このつながりこそが定年を迎えた今の私の宝物となっています。子どもたちの見守りや学校行事に積極的に参加してくださる当時の懐かしい保護者の皆さん、さわやかに成長した教え子が学校訪問をしてくれ

ること、立派な保護者になって入学式で再会できることなどは、今の私の大きな支えでもあります。

本校につながる先輩たちとの絆にも子どもと共に感謝しています。「子規さん」は、子どもだけでなく保護者や地域の人々の心の支えとして様々な教育活動の中で生き続けています。

自分の夢や生き方を熱く語ってくれる先輩との出会いには、子どもたちは自分自身の未来に向けた勇氣や自信、大きな夢をいただきます。この先輩とのつながりは今後もずっと続いていくでしょう。

また、七十歳の記念に母校で同窓会をと集まった皆さんは、本当にうれしそうに輝いていました。さらには「謙虚な気持ち忘れず学校経営を」と助言してくださるのも卒業生であります。

番町小学校に関わってきた人々の間で脈々と流れ、受け継がれてきた大切なつながりを、子どもたちと共にしっかりと確認しながら、次につなげ、広げていかなければと強く思う毎日です。

愛媛県教育研究協議会副会長
松山市立番町小学校長

学校紹介

No.132

宇和島市立下灘小学校

新生下灘小学校

本校は、今年度より由良・浦知・曾根・下灘の四小学校が統合し、新生下灘小学校となった。校舎は、昨年度までの下灘小学校のものを使用している。児童数は、三四名から七六名が増え、校区も大変広くなった。四月のあいさつ回りでは、全地区を回るのに約四時間かかり、校区の広さを実感させられた。

本校は、今年度より由良・浦知・曾根・下灘の四小学校が統合し、新生下灘小学校となった。校舎は、昨年度までの下灘小学校のものを使用している。児童数は、三四名から七六名が増え、校区も大変広くなった。四月のあいさつ回りでは、全地区を回るのに約四時間かかり、校区の広さを実感させられた。



なかよし集会

登下校には三台のスクールバスを利用している。遠い児童では、約一時間かけて登校・下校をしている。四月当初は、バスを使つての登下校に慣れないせいか、体調を崩す児童もいたが、だんだんとバス通学に慣れてきたようである。

学習の面では、学校教育目標「心身ともに健やかで、たくましく、自ら学ぶ児童の育成」の下、たくましい実践力、確かな学力、豊かな心を育成するため、日々の教育活動に

授業中や休み時間の児童の元気な声に毎日勇氣をもらっている。休み時間に多人数で遊んでいる様子や、放課後の水泳練習にたくさんのお友達が参加し、水しぶきをあげている様子を見ると、今までにない迫力を感じたりもする。統合一年目ということもあり、今後も多少の混乱やトラブルは起こるかもしれない。トラブルは、みんなの考えが一つになるよい機会と捉え、一つ一つ前向きに解決していきたいと考えている。

統合でよくなったことは、やはり、人数が増えたことで学校が活気づいたことである。

(教頭 梶田 安昭)

題字に寄せて

魚得水逝



愛媛大学教育学部 附属小学校 非常勤講師

竹田 敏行

葉根譚の「魚得水逝、而相忘乎水…」から引用させていただいた。魚は水を得て泳ぎまわり、いかにも自由で、水のあることを忘れていくという意味である。更に、鳥は風に乗って飛びまわり、いかにも自在で、風のあることを忘れていくと続く。

人もこの道理を悟れば、外物に煩わされることもなく、人智を超越して、自然の妙なるはたらきを楽しむことができるであろうと説いている。

科学技術の目ざましい進歩と環境破壊問題にゆれる現代人にとって、大自然の妙なる営みに思いをめぐらせながら、自らの生き方を考えるよすがにしたものである。

地区教育会 だより

八幡浜教育会 諏訪崎ビーチ クリーン大作戦



八幡浜教育会 OB

松本 利夫

緑の腕章を巻き、汗をびっしりかいてゴミを回収している青年がいた。近寄ってみると愛教研青壮年部の方であり、総勢十八人参加していた。八幡浜の玄関口に突き出た一・八kmの岬、これが自然体養林諏訪崎である。



この風光明媚な岬も、海浜に降りると漂着ゴミで埋めつくされていた。このゴミを何とかしようとして立ち上げたのが「諏訪崎を愛する会」である。以来「海の日」に市民あげて活動して今年で十年目と

なった。地元大手の建設会社の協力を得て、海路でゴミ運搬を担当。市の環境センターへその日のうちに運び込む。そのため、市民ボランティアも年々参加者が増えてきた。平成十八年に愛教研青壮年部が、十九年からは教育会も参加協力を申し入れてきた。今年度は、参加者が過去最高の二百人となった。このことは、八幡浜市民の環境保全への意識の高まりであり、ゴミの量が年ごとに減少していることから推測できる。



今後とも諏訪崎ビーチクリーン大作戦を核として、市民への一層の環境保全・環境教育に取り組んでいきたいと考えている。

「天気快晴、心地ひろくすがすがしければ俄かに思ひ立ちて人車をやとひ今出へと出で立つ」。二人は歌俳諧の話に余念なく、夕暮れまで迎りにも散歩に出ている。その時の俳句の一つがかすり会館にある。花木種家ある限り機の音



ローカルトピックス

子規も漱石も訪れた 霽月邸

明治二十八年十月七日、子規は今出の村上霽月邸を訪れている。

家に帰ってこのことを知った霽月は、大急ぎで三津の港に駆けつけ別れを惜しんでいた。

子規や漱石が訪れた霽月邸は、垣生小学校の道をはさんで、すぐ北にある。およそ百二十年前、この地にいる三人の姿を想像すると胸は高鳴る。

松山市立垣生小学校長 中尾 順子

村上 霽月

教職員共済協会の **終身共済**なら、
【月払型】
死亡・高度障害保障 1000万円！
60歳時の解約金 約679万円
* 掛金のお支払いは60歳まで。掛金はご契約時のまま変わりません。

月掛金 21,600円で
(35歳・女性の場合の掛金です)

万一の保障と退職後の生活資金の両方が準備できる共済です！

資料請求は電話またはインターネットにて、お気軽にご連絡ください。
教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所
〒790-8545 松山市祝町 1-5-33 Iビル 1F 愛媛文教会館 3F
TEL 089-998-2141 <http://www.kyousyokuin.or.jp/>

特集 本とわたし

『致知』との出会い



東予・周桑教育会
OB
森山 哲朗

退職と同時に、地元で新しくできた図書館に勤めさせていただき、数年になります。たくさん本の本に囲まれて、日々仕事ができる有難さを実感すると同時に、現職のところに図書館をもっと上手に利用しておれば…と、少しばかり後悔もしています。

そんな私には、長年心の糧として愛読している雑誌があります。『致知』という人間学を学ぶ月刊誌です。七年前、旅先の食事処に置いてあったのを見て、とても気に入りました。帰宅後、すぐさま定期購読の手続きをとりました。以来今日まで、多種多様な方々の生きた言葉がたくさん詰まったこの雑誌を毎月熟読し、数え

切れない貴重な教えや指針を得ています。私は、昔から読んで感動したところや、決して忘れてはならない教え等には、必ず赤鉛筆で線を引く癖があります。この『致知』には、どの号も赤線がいつばい引いてあります。

人との出会いが、人の一生を左右することがあるように、本との出会いも、また人の生涯を左右することがあることを、『致知』との出会いを通して痛感しています。知識、見識、良識…そういったことを、総合的に学べるこの雑誌は、まさに私の人生の教科書であり、私の羅針盤とも言わなければならない。これから先師、先人の箴言・至言、使命感に燃えて生きておられる方々の生きた言葉や、信念を貫いてこられた先駆者の方々の経験に学びながら、自分の人間力を成長させていきたいと思っています。

私の歩んだ本の道



伊予教育会
OB
伊丹 幸枝

今思えば、原点は、幼い日、母が読み聞かせてくれた昔物語であった。

幼い頃、家に戦前の絵本が何冊もあり、それは、何度も何度も読んだに違いない。お気に入りには、「月夜とめがね」「ぶんぶく茶釜」。絵まで思い出せた。

小学校に上がると、「幼年クラブ」を毎月買ってもらった。「冒険ダン吉」くらいしか思い出せないが漫画や読み物が載っていた。

小三で疎開先から番町小学校に帰った私は、言葉の違いから一人で居ることが多く、図書館が建つと毎日通って、伝記を中心に一日一冊のスピードで読み、卒業までに蔵書を読破した。

中学時代は、背伸びして、「孔子」や「ハッセ」を読み

明治文学にも親しんだ。高校に入ると、古語文法をマスターするために「伊勢物語」を読んだ。また、外国文学や恋愛小説も数多く読んだ。そうして本格的に本と向き合ったのは、大学に入ってからである。和田茂樹先生の講義で初めて文学に目覚め、それまで理数系と自分では思っていたが、文学こそ奥深いものと感じるようになった。それから、学部を越えて、近代文学、古典、現代文等手当たりしだいに講義に参加した。

小学校教諭になった私は、本を読む時間も無く授業研究に打ち込み、発問の一言で変化する流れが楽しくて、大原先生や木戸先生の主体学習の本に夢中になった。

今は、松前読書会で、色々なジャンルの本を先輩の先生方と一緒に読み、感想を述べ合う中でその人の生活体験で感じ方が違うのが楽しくて、人生を深め、気付かされるそんな読書に辿り着いた。

本は私にとっていつの時代も生活の彩りであった。

絵本は幸せのとびら



中瓶三子
市論教
西子教
酒井 教子

「心で見なくちゃ、ものごととはよく見えないってことさ。かんじんなことは目に見えないんだよ」『星の王子さま』の中でキツネが、「仲良くなる」とはどういうことかを王子に教えるときに、この台詞が出てきます。わたしの大好きな言葉で、折に触れこの言葉を思い出します。

教職に就いてからは特に、手にする本といえは、それに関連するものがほとんどですが、二人の子どもに親として唯一してやったのが、絵本の読み聞かせでした。子どもよりも先に睡魔に襲われることもたびたびでしたが、子どもと向き合える心地よい時間でした。親であることに感謝したひとときもありました。

同じように接してきたつもりでも子どもたちの育ち方は

違い、いつしか長女は部活動に明け暮れ、本から離れていきましたが、大学生の頃、読書の魅力に取り付かれました。一方、長男は、ずっと読書が好きで、テスト中にも読書の時間を捻出し、読みふけていました。

そして、今、家族四人がそろくと、わたし以外の三人が、本を話題に熱く語っています。

わたしの読書熱は、高校生の頃から再燃していませんが、子どもたちは、わたしの思いを引き継いでくれています。

「絵本は幸せのとびら」―今夏の市学校図書館委員研修会に、講師として来られた「えほんの店コッコ・サン」(高知県の書店)代表の森本さんの言葉が今も残り、わたしの心を満たしてくれます。

きっかけは朝読書



新居浜市金栄小
教諭 築山 紀子

読書は、私にとって心が

フレッシュでできる大切な時間である。

私が大好きなジャンルは推理小説である。頭の中で自分がその物語の登場人物になり情景が広がって、物語が進んでいくのである。

こんな私に私が読書好きになったのは、数年前から学校の活動で取り組んでいる朝読書がきっかけである。

この活動が始まった当初は、十分間という短い時間さえも惜しんで、宿題のマル付けにいそしんでいた。が、ある日、クラスの一人の児童が、「先生は、本読まないの？本は楽しいよ。一緒に読もうよ。」

と、声をかけてくれたのである。その時から読書は私の生活の一部になったのである。

今は二週間に一度、市内の図書館に通っている。素敵な本と出会える瞬間がたまらなくうれしい。

最近、もう一つうれしいことができた。娘が私の読書仲間になったことである。幼い頃から読み聞かせをし

たり、読書をすすめたりしてきたにもかかわらず、娘は、「読書は面倒くさい。本よりテレビの方がおもしろい。」

と言って、全く本に興味を示さなかった。そんな娘が小学校三年生の秋、私が読書している姿を見て、

「私も本を読んでみる。」と、自分から言い出したのである。今では、親子で読書を楽しんでいる。そして、娘も私と同様に本の内容を自由に想像するのが楽しいようである。

読書のきっかけをくれた児童に感謝して、これからも、すてきな本との出会いにわくわくしながら、潤いのある読書生活を送っていききたいと思う。

今では



松山市久枝小
教諭 森田 祐未

五年生を担任している私のクラスには、大の読書好きがいます。隙あらば本を引っ張り出して、私の声が聞こえな

いほど本の世界に入り込んでいます。小学生の頃からこんなに本を読むなんて…と、正直とても驚きました。なぜなら、私は読書が大嫌いだったからです。文字ばかりの本など、見るだけで嫌でしたし、挿絵のあるものは挿絵だけを見て読書した気分になっていました。小学生の時に唯一興味をもった本と言えば、担任の先生が読み聞かせてくださった、佐藤さとの氏の「コロボククル物語」という本です。読み聞かせ…ということころは置いておいて、とにかく聞いていてわくわくしたことを覚えていきます。

そんな私に大きな転機が訪れたのは、高校生になった時でした。朝読書があったため、しぶしぶながら図書室で本を借りるようになりました。そこで友達から片山恭一氏の「世界の中心で愛を叫ぶ」を紹介されたことで、一気に本の世界にのめり込みました。

朝読書の時間では足らず、休み時間や家に帰って夜中まで、時には授業中に隠れて読

んでいました。だからと言って、今現在、毎日のように読書しているわけではありません。年に二、三冊程度と少ないものです。しかし、年を重ねるにつれて「これ買って」と母に手渡す紙切れは、漫画の名前から、文庫本の名前に変化しました。社会に出て、自分の読みたい本を、自分が稼いだお金で買い、自分から進んで読んでいることに、少しばかり成長した自分を感じている今日この頃です。

愛媛マラソン
2013.2.10開催

参加される教職員の方にTシャツを進呈しています。

詳しくは下記までお問い合わせください。

奨学

研究助成

福祉

教育文化

共済
(提携保険事業)

公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部

〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内
TEL(089)932-8356 FAX(089)932-8357

平成二十四年度 九十九歳・八十歳慶祝者

白寿・傘寿おめでと〜ございます。記念品と御祝詞をお贈りしました。ますますの御健康と御多幸をお祈りいたします。

《九十九歳慶祝者》(五名)

今治越智教育会 清水 實様

松山市教育会 船田 政興様

松山市教育会 橋 惟材様

松山市教育会 村上 勝利様

東温市教育会 高須賀 茂様

《八十歳慶祝者》(三二名)

四国中央教育会(一七名)

眞屋 信夫様 石川 昭子様

田邊 潤一様 石川 緑様

篠原 保夫様 石川 美和様

宮内 紀郎様 石川 美子様

坂上 貢様 垣鍔 和様

高村日出男様 元木 英明様

鈴木恒和様 河村 幸江様

曾我部敏子様 近藤サダ子様

西山 秋久様

新居浜教育会(一一五名)

阿部 茂樹様 近藤 道子様

神野 環様 白石 操様

近藤 巧様 高内 寛様

森次 康成様 岡崎 美鈴様

明石貴美子様 神野 茂子様

岡部千壽子様 高木 満智様

渡邊 健様 松浦 英一様

山本 喬様

西条教育会(六名)

和田満里子様 渡辺安富美様

松本 几様 越智 秀郎様

高木 清様 日野 好市様

東予・周桑教育会(六名)

酒井 芳郎様 戸田 有俊様

秋川 道雄様 篠原 文也様

佐伯 格様 乗松 俊武様

今治・越智教育会(二九名)

青野 秀子様 山本満州男様

武田 茂則様 小池 實様

池内 謙三様 藤原富美子様

白石 功様 白石 圭二様

山本 弘子様 石丸 進様

新居田 託様 白石 都生様

村上 孝幸様 小松 清茂様

越智 定様 南條 勲様

浮穴 功様 武田 一郎様

村上 是善様 門岡 玲子様

福田キサ子様 上野 幹一様

平野 孝明様 村上 好郎様

今岡 教子様 福田 紀子様

山本 功二様 金子 昭一様

福本 泰輔様

松山市教育会(四六名)

廣瀬 幸一様 朝雲 学様

鈴木 慶政様 三好 功様

西原 信雄様 小暮 照様

黒光 博丸様 宮田 頼行様

武井 邦夫様 中山 厚様

大浦 健二様 大塚 洋子様

安藤 龍雄様 長尾 皓二様

吉田 節子様 藤原 恭慶様

岡本 明夫様 乃万 浩二様

山之内忠幸様 河本ユウミ様

和野 重雄様 竹本 輝明様

直野 大蔵様 玉井 幹夫様

岩崎 禮子様 大野 勝美様

末廣 通男様 阪本 安光様

宇都宮 保様 井上 數満様

白方 茂様 吉本喜代成様

兼平 匡様 古川 義晴様

門屋 哲也様 永嶋伊佐子様

眞部 明雄様 吉野 幹憲様

北尾 洪正様 門田 貞子様

清水 浩様 越智 右介様

河崎 富枝様 管 薫明様

東温市教育会(五名)

土居 茂男様 葛原 匡様

井上 勝美様 相原 俊雄様

神野 香澄様

伊予教育会(六名)

嶋田 嵩様 上田奈保美様

竹本喜久子様 伊達 嘉和様

向井 玲子様 大政 景子様

上浮穴教育会(三名)

小倉 敦男様 竹井 史一様

森岡 春夫様

大洲市教育会(二〇名)

畦田 隆志様 古岡 智稔様

藤岡 壽子様 中野 生夫様

富永 房子様 沖田 菖様

磯崎 幸江様 丸山 好昭様

一宮 武志様 白居 十郎様

窪 久江様 東 恒夫様

澤山 英子様 谷本トミ子様

城戸 智道様 小亀 正義様

平井 一孝様 徳永 満男様

友石 甫様 兵頭 満様

内子教育会(三名)

北岡 保雄様 水本 勝好様

中岡 健一様

八幡浜教育会(八名)

和田ミユキ様 二宮 秋晴様

清水 仲洋様 泉 米子様

浅井 健喜様 友岡 松枝様

西予教育会(一四名)

浮田 宏様 和田 正様

網干 讓治様 近藤サトミ様

三好 勇様 村上ユリ子様

井上 恭子様 宇都宮 誉様

井上 敬新様 清家 成雄様

大野 洋子様 菊澤 康様

菊池 陸雄様 石井 康文様

宇和島教育会(二三名)

西村 健様 大塚シズ子様

吉田 昌質様 平野 徳子様

清家 慶子様 福田 康八様

柴田 博様 橋田 三郎様

久保 日丸様 林 幸男様

百合田歌子様 犬飼 美子様

濱田 月子様 福井 昭子様

加賀山健吉様 清家 昭夫様

岡田 幸子様 石山 利明様

龍山 宣明様 松本 澄夫様

宇都宮富子様 河野 勲様

北宇和教育会(二三名)

松浦スミ子様 坂本 榮様

前田三恵子様 松浦 健様

高田 宥様 渡辺 泰子様

竹葉 修様 高田 恵美様

桂 松美様 野村 政俊様

竹葉小夜子様 岡本 優様

南宇和支部(九名)

木原 泉様 湯浅 泰様

西河 忠孝様 田口 久子様

中田 恭子様 西田 豊様

前田 嘉明様 若林 洪平様

山村 知恵様

コスモSカードご入会のおすすめ

上記の制度にご入会いただきますと、カード会員価格でガソリン・軽油を県内はもちろん、全国のコスモ給油網(全国6,700ヶ所)において、カードで共通利用できます。

愛媛県学校生活協同組合連合会 電話(089)925-0555 又は、郡市学校生活協同組合

お問合せは

【眼鏡市場】提携のお知らせ

愛媛県学校生活協同組合連合会は眼鏡市場と提携店の契約を結びました。組合員の皆様は、学校生協のクーポンチラシを店頭で持参頂きますと、現金もしくはクレジットカードでお買い上げの際に5%割引が適用されます。(補聴器は5%割引対象から外れます)

詳しいお問合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会 電話(089)925-0555 又は、各郡市学校生協まで



愛媛県教育会 ～47年の歩み～



年度	理事長	会員数	現職	退職	賛助会員	主な歩み
昭41	梅本新吉	11,664	S 41. 5. 28 (第2回総会時)			昭和41年3月10日 設立総会 支部数21
昭42		11,579	S 42. 5. 30 (第3回総会時)			弔慰規程決定
昭43		12,042	S 43. 5. 26 (第4回総会時)			80歳慶祝事業開始
昭44		12,192	S 44. 5. 25 (第5回総会時)			教育会館建設委員会 (S 45. 1. 31) 会員数12,128人 (S 45. 3. 31現在)(以下各年度末現在の人数を表記)
昭45		11,934	9,549	1,544	841	
昭46	川上数視	12,228	9,407			財団法人愛媛県教育会設立 (S 46. 10. 11) 寄附行為決定 愛媛文教会館起工式 (S 47. 4. 16)
昭47		12,171	9,435	1,821	915	愛媛文教会館落成 (S 48. 2. 7)
昭48		12,194	9,333	2,110	751	評議員66名、理事16名 観月俳句大会開始 第1回受賞者祝賀会を開催
昭49		12,364	9,328	2,244	792	退職教員感謝慰労の会、OB囲碁大会を開始 日本連合教育会に加盟 (S 50. 4. 1) 愛媛文教月報第1号発刊 (S 50. 4. 18)
昭50		12,313	9,327	2,379	607	OB現職合同囲碁大会 医療互助部会発足 (S 51. 4. 1)
昭51		12,615	9,343	2,677	595	退職者の医療給付開始 創立10周年記念中央集会 (S 51. 11. 1) 事務局改組 5部局制発足 (S 52. 4. 1) 「結成10年-われらのあゆみ-」発行 (S 52. 5. 20)
昭52		12,827	9,348	2,867	612	結婚相談事業 日連教全国大会(愛媛大会)開催 (S 52. 9. 20) ㈱福祉センター設立 情報文化部開設(6部局) 福利年金経営委員会発足、福利年金事業開始(県教職員互助会と協定)
昭53		13,604	9,533	3,150	921	文教会館改装工事 教育功労者表彰規程、報賞並びに慶弔に関する規程決定 第1回新規採用教職員歓迎会開催(参加者522名)
昭54		13,951	9,636	3,406	909	
昭55		14,337	9,740	3,688	909	会員名簿(退職会員)の発行(S 55. 10. 31)以後5年ごとに更新
昭56	吉金四郎	14,745	9,811	4,003	931	囲碁大会を各支部開催に変更
昭57		15,241	9,900	4,334	1,007	俳句集を紙上発表に変更
昭58		15,608	9,891	4,602	1,115	短歌、川柳の募集開始 文化講演会
昭59		15,880	9,867	4,839	1,174	第1回愛媛の教育を語る会開催(S 59. 10. 12) 文化講演会
昭60		16,048	9,930	5,001	1,117	結婚相談委員会設置 文化講演会
昭61	河野博	16,342	9,891	5,221	1,230	日連教全国大会(愛媛大会)開催(S 61. 10. 31) 琉球舞踊公演 結成20周年記念中央大会(S 61. 11. 26) 「結成20年-われらのあゆみ-」発行(S 62. 5. 20)
昭62		16,581	9,851	5,451	1,279	事務局機構改組(4部門9部)(S 63. 4. 1) 積立年金制度発足 文化講演会
昭63		16,804	9,845	5,630	1,329	文化講演会
平元		17,109	9,893	5,889	1,327	シンボルマーク承認 教育会旗作成 文化講演会
平2		17,329	9,909	6,111	1,309	文化講演会
平3		17,633	10,014	6,284	1,335	雲仙岳噴火災害見舞募金 文化講演会
平4	17,796	9,967	6,434	1,395	文化講演会	
平5	大野憲	17,858	9,917	6,560	1,381	文化講演会
平6		17,839	9,840	6,622	1,377	阪神大震災救助金送付 文化講演会
平7		17,770	9,777	6,647	1,346	会館改築基金拠出実施要項 愛称「エスポワール」(H 7. 6. 19) 文化講演会
平8		17,687	9,704	6,657	1,326	創立30周年記念中央大会(H 8. 11. 9) 創立30周年「我等のあゆみ」発行(H 9. 5. 1)
平9		17,545	9,496	6,739	1,310	
平10	17,347	9,363	6,712	1,272	日連教全国大会(愛媛大会)(H 10. 10. 21) 退職者感謝慰労会廃止	
平11	真部明雄	17,168	9,219	6,673	1,276	
平12		16,873	9,039	6,572	1,262	
平13		16,647	8,940	6,466	1,241	医療互助制度廃止 事務局改組(4部門6部)(H 14. 4. 1) 会館改築構想審議会
平14		16,504	8,906	6,374	1,224	結婚相談事業廃止
平15		16,389	8,924	6,274	1,191	「会館改築構想の全体的、抜本的見直しについて」諮問(6月)と答申(1月)
平16	16,131	8,791	6,167	1,173		
平17	中野道春	15,719	8,665	5,996	1,058	会館改築構想審議会
平18		15,391	8,536	5,848	1,007	会館耐震補強・大規模改修工事 愛媛県教育会設立40周年記念大会(H 19. 3. 25)
平19		15,157	8,457	5,715	985	「設立40周年 我等のあゆみ」発行 「教育を考える県民フォーラム」開催(35団体)(H 19. 11. 10)
平20		14,966	8,382	5,624	960	「えひめ教育の日」制定記念大会(37団体)(H 20. 11. 1)
平21		14,725	8,308	5,474	943	新公益法人制度対策審議会
平22		14,524	8,280	5,338	906	日連教全国大会(愛媛大会)(H 22. 8. 18)
平23	田鍋 修	14,272	8,207	5,200	865	第47回定期総会で田鍋修理事長を選出(H 23. 5. 25) 東日本大震災救援金送付

ふるさとスケッチ

No.349

レンコンの名産地、鳥生



鳥生小論 友子 今治市教 越智

今治市の鳥生地区は、レンコンの栽培が盛んなところで、校区のあちらこちらにレンコン田を見ることができま

す。この辺りでレンコンの生産が始まったのは大正時代。土地に合った作物で収入を高めようと、高山卯三郎さんという方が、岡田村（現伊予郡松



前町）から自転車種を持ち帰ったのが始まりだったそうです。本校では、三年生が鳥生レンコンについての学習をしています。秋には、レンコンを掘る体験をさせてもらう予定です。今年も豊作でありますように。

ご冥福をお祈りします

大内 慶和様	68歳	伊予市双海町上灘甲一〇三	24・8・2
池内イワノ様	107歳	伊予郡松前町恵久美二七	24・8・14
一色 透様	82歳	西条市喜多台五二一	24・8・16
加地喜三郎様	82歳	新居浜市松神子三一・一	24・8・24
森 和幸様	80歳	伊予郡松前町徳丸三九四・三	24・8・26
土岐 敏雄様	83歳	今治市北日吉町二六五	24・8・28
越智慎一郎様	81歳	新居浜市八雲二・三	24・8・29

地区教育会会員数

平成二十四年八月二日現在

地区教育会	現職会員	退職会員	名誉会員	賛助会員	計
四国中央	499	344	0	48	891
新居浜	614	447	8	44	1,113
西条	308	193	0	10	511
東予・周桑	348	250	0	22	620
今治・越智	965	618	8	54	1,645
松山市	2,211	1,068	18	25	3,322
山温	195	111	0	9	315
伊予穴	511	272	1	124	908
上浮洲	103	69	0	12	184
大内	387	300	11	14	712
八幡宇	169	83	2	15	269
西和	319	215	2	27	563
西予	111	53	0	2	166
北和	351	321	0	92	764
南和	560	325	0	131	1,016
附属	143	111	2	36	292
本外	233	163	3	68	467
計	8,111	4,949	55	865	13,980

祝 受章おめでとうございます

瑞宝双光章（高齢者叙勲）

- 川崎 敏行様 88歳 元中島町立中島東小学校長 松山市
- 小澤猪三睦様 88歳 元今治市立桜井小学校長 今治市
- 芝 吉正様 88歳 元日吉村立日吉小学校校長 鬼北町

サポート共済保険について

学校生協組合員の万一の場合、ご家族を長期間にわたり経済的にサポートする保険制度です。

毎年10月に保険会社が各学校を訪問し、ご説明いたします。

お問合せは 愛媛県学校生活協同組合連合会

電話(089)925-0555

または 各郡市学校生活協同組合

足跡をつづる、私を記す、形に残す。

あなたが主人公のドラマを未来に伝えますか。

本づくり 応援キャンペーン

●規格・表丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示

●原稿作りのアドバイス ●予算のお見積もり ーその他、ご相談承ります。ー ※書体での著作権表示の取扱いも承ります。

ご注文・お問い合わせは 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073

SEKI セキ株式会社 松山本社/松山市津町7丁目1-1 TEL(089)945-0111 東京本社/東京都港区代々木2丁目2-8 TEL(03)3377-1230 支店/大塚/高松/新居浜/松山 TEL(089)947-6073 http://www.seki.co.jp